

巨匠コープマンが平和への祈りを込めて贈る  
バロック・オルガン名曲選

—— エリザベト音楽大学創立75周年記念 ——

# ジョン・コープマン

## パイプオルガン・リサイタル

### プログラム

ブクステフーデ：前奏曲 ト短調 BuxWV 148  
ブクステフーデ：われらが神は堅き砦 BuxWV 184  
モーツァルト：自動オルガンのためのアンダンテ K. 616  
C.P.E.バッハ：オルガン・ソナタ イ短調 Wq. 70-4  
ダカン：スイス・ノエル  
J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565  
J.S.バッハ：前奏曲とフーガ ハ短調 BWV 546  
J.S.バッハ：バビロン川のほとりに BWV 653  
J.S.バッハ：パッサカリア ハ短調 BWV 582  
ほか

2023 2月21日(火) 18:15開場/18:45開演

エリザベト音楽大学セシリアホール(広島市中区鞆町4-15)

全席自由(税込) 一般3,500円 / 学生2,000円 (※ムジカキアラでのみ取り扱い)

ご予約・お問合せ ムジカキアラ 03-6431-8186 (平日10:00~18:00) info@musicachiara.com

プレイガイド エディオン広島本店プレイガイド 082-248-5111 カワイ広島 082-243-9291

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> イープラス <https://eplus.jp>

※曲目曲順は変更になる場合がございます ※未就学児のご入場はご遠慮ください

協賛：エリザベト音楽大学/後援：日本オルガニスト協会西日本支部/企画制作：ムジカキアラ

John Copman Pipe Organ Recital

エリザベト音楽大学創立75周年記念

# トン・コープマン パイプオルガン・リサイタル

バロック・オルガンの巨匠、待望の広島公演！バロック・オルガンの巨匠として、またチェンバロ奏者・指揮者として世界的に活躍するトン・コープマン。2018年以来、5年ぶりとなる日本ツアーで、エリザベト音楽大学セシリアホールでのオルガン・リサイタルが実現。バッハを中心としたバロック音楽研究において、それまでのバロック音楽界に新風を吹き込み、世界的名声を獲得。今もオルガン・チェンバロ奏者として、また、自らが創設し率いる「アムステルダム・バロック管弦楽団・合唱団」の指揮者として、世界の第一線で活躍しているバロック音楽界のまさに「至宝」といえる存在です。学術的に裏打ちされた解釈を持ちつつも、その演奏はとて人間味に溢れ、作品に命を吹き込むという言葉をもまさに体現するコープマンの演奏は、永遠に忘れられない感動をもたらします。生涯をかけて取り組んできたバッハ作品をはじめ、自ら選び抜いた珠玉のバロック作品がセシリアホールに響き渡る・・・オルガン・ファンでなくても絶対に聴き逃さない一夜！



## トン・コープマン (パイプオルガン)

オランダ、ズヴォレ生まれ。アムステルダムで、クラシック音楽教育を受け、オルガンとチェンバロ、音楽学を学び、両方の楽器で優秀賞を獲得している。古楽器に魅了され、文献学的な演奏方法に惹かれたコープマンは、特にJ.S. バッハを中心としたバロック音楽の研究で、オーセンティックな演奏の第一人者と呼ばれるようになった。オルガンとチェンバロ奏者として、世界中の有名なコンサートホールでリサイタルを行っており、これまでに数々のヨーロッパの歴史ある美しい楽器を演奏してきた。レパートリーは幅広く、ルネサンスから古典派の作品を演奏し、自ら設立し、最も優れた古楽のアンサンブルとして世界的な名声を獲得しているアムステルダム・バロック管弦楽団・合唱団との演奏では、バロックと古典作品を深く掘り下げ、指揮者としてモダン・オーケストラとの演奏では、初期ロマン派の作品も採り上げている。最近では、客演指揮者として世界の一流オーケストラに招かれることが多く、これまでに、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ミュンヘン・フィル、シカゴ響、サンフランシスコ響、ロイヤル・コンサートヘボウ管、バイエルン放送響、N響などと共演して

いる。コープマンの意欲的な活動の中でも、バッハ・カンタータ全集の録音は大事業として、ドイツ・シャルブラッテン・ベルリンのECHOクラシック賞やBBC音楽賞などを受賞、またグラミー賞やグラモフォン賞にもノミネートされた。バッハ作品に加えて、ディートリヒ・ブクステフーデの研究も長年続けており、バッハ・プロジェクトを終えた2005年には、ブクステフーデのオペラ「オムニア」の録音に取り掛かり、10年の歳月をかけ30枚のCDで構成されるシリーズを完成させた。国際ディートリヒ・ブクステフーデ協会の会長を務め、2012年にはリューベック市のブクステフーデ賞とライブツィヒ市のバッハ賞、2014年には英国王立音楽院のバッハ賞を受賞。また、楽譜の編纂も定期的に行っており、ヘンデルのオルガン協奏曲全集をブライトコップ・アンド・ヘルテルより出版、最近ではヘンデルのメサイア、ブクステフーデのオラトリオ「最後の審判」の新版をカールス音楽出版社よりリリースしている。オランダ・ライデン大学教授。英国王立音楽院の名誉会員。オランダのバロック音楽祭「Itinerarie Baroque」芸術監督。2019年より、ライブツィヒ・バッハ資料財団の所長を務めている。

アクセス

## エリザベト音楽大学セシリアホール

広島県広島市中区幟町4-15 TEL.082-221-0918 (代)

- ① JR広島駅南口から 徒歩約12分
- ② 市内電車またはバス「銀山町(かなやまちょう)」下車 徒歩約4分
- ③ アストラムライン「県庁前駅」下車 徒歩約15分



## 神戸公演

### トン・コープマン チェンバロ・リサイタル

2023年2月23日(木・祝) 14:00開演(13:00開場)

神戸新聞松方ホール (神戸市中央区東川崎町1-5-7神戸情報文化ビル4階)

全席自由(税込) 4,500円

#### プログラム

- J.S. バッハ: パルティータ第3番 イ短調 BWV827  
 フローベルガー: トッカータ第2番 二短調 FbWV102  
 ブクステフーデ: 前奏曲 ト短調 BuxWV 163  
 J.S. バッハ: フランス組曲第5番 ト長調 BWV816 ほか

#### ご予約・お問合せ

(大阪アーティスト協会)

tel.06-6135-0503 fax.06-6135-0504

チケット専用IP電話 050-5510-9645

主催: RENAISSANCE CLASSICS / 後援: 神戸新聞社

Ton Koopman Pipe Organ Recital